

別紙：

【NanoBridgeについて】

NanoBridgeは、半導体チップ内の信号配線を接続(オン)したり、切断(オフ)したりできるスイッチ素子です。固体電解質中に形成される金属(銅)原子の架橋の有無を信号のオン・オフに利用しています(図1)。オン・オフ状態は電源を切っても保持されます。原子サイズの極小スイッチであること、金属製のスイッチであることから、超低消費電力・高放射線耐性の特性を有しています。

